

松ヶ江南 まちだより

令和 7 年
5 月 1 日 第 1 6 5 号
発行責任者
松ヶ江南校区
まちづくり協議会
会長 馬場 一榮
広報 馬場 純子

松ヶ江南校区まちづくり協議会とは？（その1）

1. 地域を取り巻く課題の多様化！

近年、少子・高齢化や核家族化の進行、地域の連帯意識の希薄化など社会環境が変化する中で、防犯・防災、環境、教育、福祉など多くの分野で、地域を取り巻く課題は複雑化・多様化しています。

2. 地域住民で支え合い取り組む！

これらの課題を個人や行政だけで解決するには限界があり住民同士が支え合い課題解決に向けて取り組むことが、ますます重要になっています。

3. 拠点としての市民センター！

住民主体の地域づくり・まちづくりを促進するため、「松ヶ江南校区まちづくり協議会」を設置しており、その活動の拠点として「松ヶ江南市民センター」があります。

4. 参加している団体

松ヶ江南校区自治連合会、松ヶ江南校区社会福祉協議会、婦人会、老人クラブ、松ヶ江南小学校、松ヶ江南中学校などで構成する、地域づくりの団体です。



松ヶ江に伝わるお話あれこれ

松ヶ江の城・吉志城3

では、この吉志城は一体誰のお城だったのでしょ。文献によると、寛永2年（1244年・鎌倉時代中期）時の執権北条経時の命により、下総前司藤原親房が豊前地頭職に任せられ、平家の残党鎮圧のため兵船70艘を率いて門司にやってきました。下総国は今の茨城県南西部・千葉県北部、前司というのは前の国司のことで、地頭職は税を取り立てるのが主な仕事でした。

ところが、まだこの時期になっても九州には平氏に心を寄せる武士たちがいて、およそ10年もの間親房は門司には上陸出来ず、海上を漂ったり下関に留まったりしたようです。ようやく上陸したのが、11年後の建長7年（1255年）のことでした。親房は長野郷から吉志・伊川・大積を、蒲生郷から片野・柳・楠原の計6郷を領有し、吉志郷には寒竹山に吉志城を築き親房の子親光を住ませたと書かれています。（つづく）

文・松ヶ江郷土史会主宰 川村 眞由美

新門司地区複合公共施設

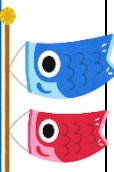
花壇の花植え



日時 6月7日(土) 8時30分〜
集合場所 複合施設花壇前
持参物 軍手・タオル・汚れても良い服

5月の校区の行事予定

23日	金		8日		木
まちづくり協議会総会	自治連合会総会		民生委員会	ふれあい昼食交流会	健康相談会
18時30分	18時30分		18時00分	11時30分	10時30分



生活安全パトロール隊

★吉志1〜2丁目	8日・22日(木)
★シンプルライフ	10日(土)
★吉志3〜7丁目 集合場所：上吉志集会所	1日・15日(木)
★吉志新町3丁目 関係者にはSNSにてお知らせします。	不定期に実施
★恒見5町内 集合場所：恒見区民館	3日・17日(土)
	19時30分

※場所の記載がないものについては、松ヶ江南市民センターで行います。

